

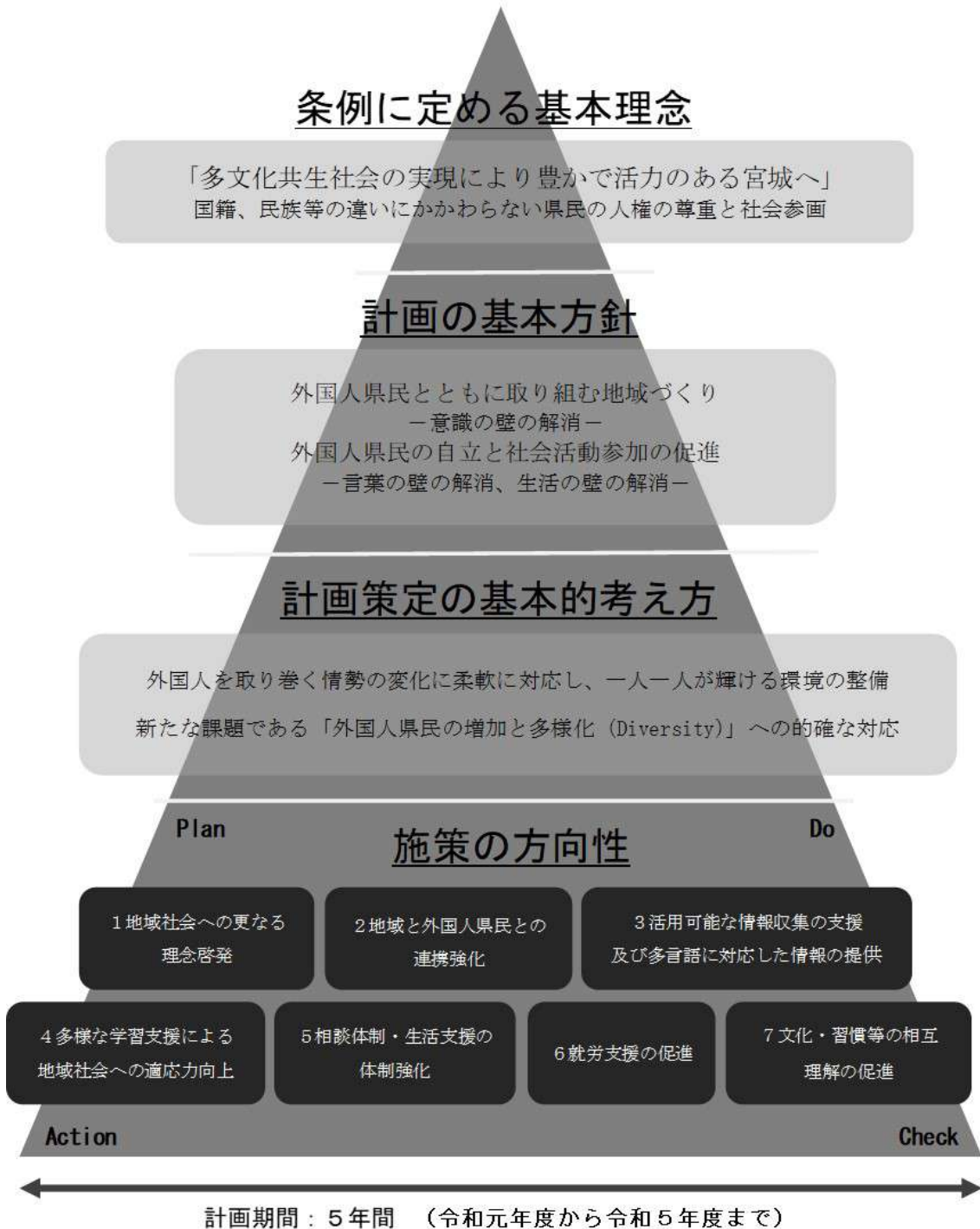
令和4年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策

【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第21条に基づく報告】

令和5年6月
宮 城 県

基本方針と多文化共生施策の方向性

(第3期宮城県多文化共生社会推進計画より)



【参考1】多文化共生社会の定義（条例第2条関係）

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに、文化的背景等の違いを認め、及び人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会をいう。

【参考2】議会への報告等（条例第21条関係）

知事は、毎年度、多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策を県議会に報告するとともに、公表するものとする。

1 令和4年度に講じた多文化共生施策

(1) 「意識の壁」の解消

【事業の取組方針】

「意識の壁」の解消に向け、広く基本理念の普及・啓発を行い、県民や関係機関等との推進体制の整備を図る。

① 多文化共生シンポジウム事業（事業費：482,612円）

「外国人県民等とともに取り組む地域づくり」推進のため、岩沼市と共催でシンポジウムを開催し、地域の多文化共生に関する理解促進を図った。また、当日の記録を岩沼市民及び関係団体に周知することで、多文化共生に関する意識の更なる醸成を図った。

日 時：令和4年12月18日（日） 午後2時から午後4時まで

場 所：岩沼市民会館 中ホール

来場者数：65名

プログラム：

基調講演：岩手大学 国際教育センター 教授 松岡 洋子 氏

「外国人移住者と受入れ市民がつくる多文化社会」

パネルディスカッション：

「現在進行中！私たちがつくる多文化共生のまち 岩沼」

・コーディネーター（公財）宮城県国際化協会（MIA） 総括マネージャー 大泉 貴広 氏

・パネリスト（株）にしき食品 業務管理部システム課 課長 庄司 昌彦 氏

（株）利久 技能実習生 チャム ティ トウ ホン 氏

（公社）青年海外協力協会（JOCA 東北） マネージャー 星 英次 氏

岩沼北中学校・亘理中学校 非常勤講師 菅野 ルカ 氏



（ポスター）



（上段：基調講演、下段：パネルディスカッション）

② 啓発ツール作成事業（事業費：277,200円）

県内の小学6年生児童を対象とした啓発チラシ21,000部を作成し、県内の児童に配布するとともに、教員向け相談窓口周知チラシ7,000部を県内の小・中学校に配布することで、多文化共生に関する理念啓発を図った。



（啓発チラシ・表）



（啓発チラシ・裏）

③ 多文化共生社会推進審議会運営事業（事業費：191,588円）

宮城県多文化共生社会推進審議会を開催。前年度に講じた施策や令和5年度多文化共生推進事業について審議した。

ア 第1回

日時：令和4年6月6日（月）〔出席委員：8名〕

議題：(1)令和3年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策について
(2)令和4年度多文化共生推進事業について

イ 第2回

日時：令和5年2月6日（月）〔出席委員：10名〕

議題：(1)令和4年度宮城県多文化共生アンケート調査結果（速報版）について
(2)第3期宮城県多文化共生社会推進計画の改訂について
(3)多文化共生推進に向けた主な取組について



（審議会の様子）

委員名簿（敬称略・五十音順）

（令和5年3月31日現在）

	所属・役職	氏名	備考
1	東北学院大学経済学部共生社会経済学科 教授	石川 真作	
2	宮城教育大学教育学部国際教育領域 教授	市瀬 智紀	会長
3	みやぎ外国人相談センター相談員	金 才 努	
4	SenTIA通訳サポーター MIA国際理解教育講師、外国籍子どもサポーター	小松崎 あんな	
5	南三陸町国際交流協会理事	佐藤 金枝	
6	宮城労働局職業安定部長	竹内 ひとみ	
7	宮城県中小企業団体中央会副会長	針生 英一	
8	仙台弁護士会	藤田 祐子	
9	仙台市立国見小学校教諭	横山 広佳	
10	東北大学高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター准教授	渡部 留美	副会長

④ 多文化共生市町村研修会事業（事業費：96,490円）

市町村や県職員等を対象として、多文化共生に対する情報共有や施策の促進を図るため、全国で多文化共生活動に取り組んでいる講師を招き、多文化共生の理念や取組事例等について知識を深めるとともに、外国人とのコミュニケーションツールとして有用な「やさしい日本語」の研修会を開催した。

ア 令和4年度宮城県多文化共生推進に関する研修会

日 時：令和5年2月10日（金）午後1時15分から午後4時40分まで

場 所：SS. 仙台ビル5階スタンダード会議室

参加者：22名

プログラム：

講 演 （特活）多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 高木 和彦 氏
「多文化共生と外国人住民への広報」

（公財）宮城県国際化協会（MIA）

総括マネージャー 大泉 貴広 氏

「市町村職員のためのやさしい日本語研修」



(研修会の様子)

(2) 「言葉の壁」の解消

【事業の取組方針】

「言葉の壁」の解消に向け、多言語化支援を行うとともに、外国人県民等への学習支援を図る。

① 地域日本語教育体制構築事業（事業費：7,368,416円）

地域の実情にあった地域日本語教育体制を構築し、日本語を学べる環境を整備するため、地域の日本語教育を担う人材の育成を行ったほか、ICT活用による日本語学習支援や「やさしい日本語」の研修を実施した。

ア 総合調整会議

有識者（10名）を招き日本語教育推進施策について協議

(ア) 第1回

日時：令和4年8月2日（火）〔出席：9名〕

議題：(1) 宮城県の日本語教育体制の現状とこれまでの県の取組
(2) 地域日本語教育体制構築事業について

(イ) 第2回

日時：令和5年1月19日（木）〔出席：7名〕

議題：(1) 令和4年度地域日本語教育体制構築事業の実施内容について
(2) 令和5年度地域日本語教育体制構築事業及び
第4期多文化共生社会推進計画の策定について

イ 日本語教育の人材育成・体制整備

(ア) 総括コーディネーター・地域日本語教育コーディネーター派遣

既存の日本語講座へコーディネーターを派遣し、日本語学習支援の方法等について研修等を実施した（計4回）。

a. 総括コーディネーター：

（公財）宮城県国際化協会 総括マネージャー 大泉貴広 氏

b. 地域日本語教育コーディネーター

宮城県国際化協会日本語講座講師／東北中国帰国者支援・交流センター日本語講師
鈴木 英子 氏

(イ) 既存講座の学習支援者向け研修

既存の日本語講座での日本語学習支援を行う者のスキルアップに向けた研修を実施した。

a. 日本語ボランティアセミナー

実施日：令和4年10月9日（日）

場 所：エル・パーク仙台

内 容：河北新報「やさしい にほんご ニュース」を活用した日本語学習支援活動

受講者：34名

b. MIA日本語サポーターオンラインサポート情報交換会

実施日：令和5年1月30日（月）

場 所：オンライン開催

内 容：

オンラインサポート経験者による事例紹介・情報交換、MIA日本語講座講師による助言等

受講者：5人

c. MIA日本語サポーター ビギナー研修会

実施日：令和4年8月22日（月）、令和5年2月9日（木）

場 所：宮城県国際化協会

内 容：

宮城県の国際化と日本語学習支援活動／外国語としての日本語・やさしい日本語・日本語学習教材の紹介

受講者：17名



(日本語ボランティアセミナーの様子)



(コーディネーター派遣の様子)

(ウ) 日本語教育人材の育成

日本語学習支援を行う人材の育成を行うことを目的に県内2か所で人材育成研修を実施した。

a. 加美町

実施日：

令和4年10月1日（土）、15日（土）、11月5日（土）、19日（土）

場 所：中新田公民館、中新田交流センター

内 容：

地域の国際化の現状／外国語としての日本語／やさしい日本語／異文化間コミュニケーション／他地域の事例／外国人技能実習生との日本語交流活動等

受講者：12名

b. 岩 沼 市

実施日：

令和4年10月20日（木）、27日（木）、11月10日（木）、17日（木）、
24日（木）

場 所：青年海外協力隊協会東北支部

内 容：

地域の国際化の現状／外国語としての日本語／やさしい日本語／ベトナムの生
活習慣と言葉／異文化間コミュニケーション／他地域の事例等

受講者：33名



（人材育成講座の様子）

(エ) ICT活用等による空白地域解消に向けた支援

加美町及び岩沼市において、人材育成講座修了者とともに試験的に実施した。また、石巻市で在住外国人と大学生等を対象としてオンラインでの対話活動を行った。

a. 加 美 町

実施日：令和4年11月26日（土）、12月24日（土）、令和5年1月28日（土）

場 所：中新田公民館及び加美町住民バスセンター

受講者：延べ29名

b. 岩 沼 市

実施日：令和5年1月22日（日）、2月5日（日）

場 所：青年海外協力隊協会東北支部

受講者：延べ45名

c. 石 巻 市

実施日：令和5年1月18日（水）、1月25日（水）、2月8日（水）

場 所：オンライン開催

受講者：延べ69名

ウ 日本語教室を拠点とした在住外国人と地域住民との交流事業

住民と在住外国人が地域で顔が見える関係を構築するため、防災をテーマとした研修及び交流会を2市町で実施した。

(ア) 加 美 町

実施日：令和5年2月12日（日）午後1時から午後3時まで

場 所：加美町地域包括支援センター

内 容：防災研修（防災・減災の基礎知識／ハザードマップの見方／非常食の試食／
災害時に使われる言葉）

参加者：17名

(イ) 岩 沼 市

実施日：令和4年11月13日（日）午後2時から午後4時まで

場 所：青年海外協力隊協会東北支部

内 容：防災研修（防災・減災の基礎知識／避難所について／災害時に使われる言葉）

参加者：20名



（防災研修の様子）

エ 地域住民等を対象としたやさしい日本語研修

コミュニケーション手段として有用な「やさしい日本語」研修を6市町で実施した。

(ア) 丸 森 町

実施日：令和4年10月6日（木）午後1時30分から午後3時まで

場 所：丸森まちづくりセンター

内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語

参加者：一般町民 16名

(イ) 柴 田 町

実施日：令和4年10月13日（木）午後2時から午後3時30分まで

場 所：柴田町地域福祉センター

内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語

参加者：民生委員・児童委員 73名

(ウ) 気 仙 沼 市

実施日：令和4年11月4日（金）午後1時から午後3時まで

場 所：気仙沼市役所

内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語

参加者：市職員 27名

(エ) 石 巻 市

実施日：令和4年11月9日（水）午前10時から正午まで

場 所：石巻市役所

内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語

参加者：市職員 25名

- (オ) 涌谷町
 実施日：令和5年1月26日（木）午後6時から午後7時30分まで
 場 所：涌谷町役場
 内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語
 参加者：一般町民 12名
- (カ) 大崎市
 実施日：令和5年2月24日（金）午後2時から午後4時まで
 場 所：大崎市地域交流センター
 内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語
 参加者：市職員 20名
- (キ) 県内全域【再掲】 ※市町村研修会事業として実施
 実施日：令和5年2月10日（金）午後2時30分から午後4時30分まで
 場 所：SS.仙台ビル
 内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語
 参加者：市町村職員等 11名



(研修会の様子)

② 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：231,110円）

MIAに委託し、県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できる体制整備を図るとともに、通訳ボランティアの確保・養成を行った。令和4年度末時点で114名、18言語での対応が可能となった。

ア 研修会の開催

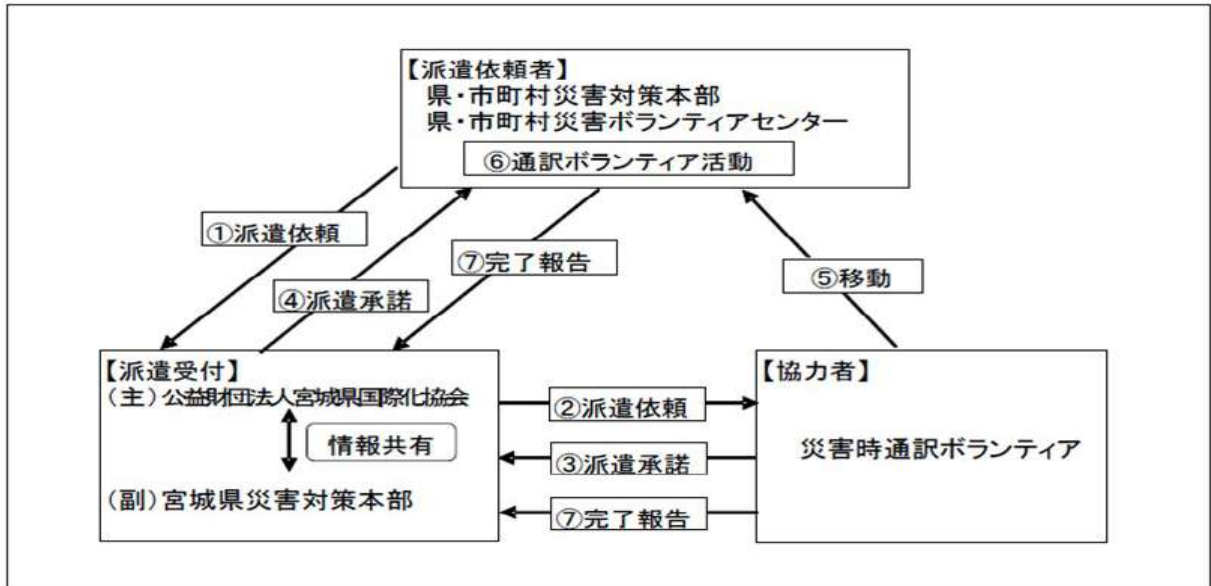
MIA外国人支援通訳サポーター・災害時通訳ボランティア合同研修会（オンライン開催）

日 時：令和5年2月1日（水）午後2時から午後3時30分まで

参加者：20名

内 容：在留外国人の現状、今年度MIA外国人支援通訳サポーター稼働実績について
 保健行政における通訳活用事例、通訳スキルの維持・向上に関する情報提供

イ 派遣フロー図



③ 多言語情報発信強化事業【コロナ対応】(事業費：902,000円)

コロナ禍における不安解消を図るため、外国人向けに様々な情報を発信しているMIAのホームページ及び宮城県ホームページの新型コロナウイルス感染症サイトにて多言語による情報発信を行い、外国人県民の不安解消を図った。



(県ホームページ)



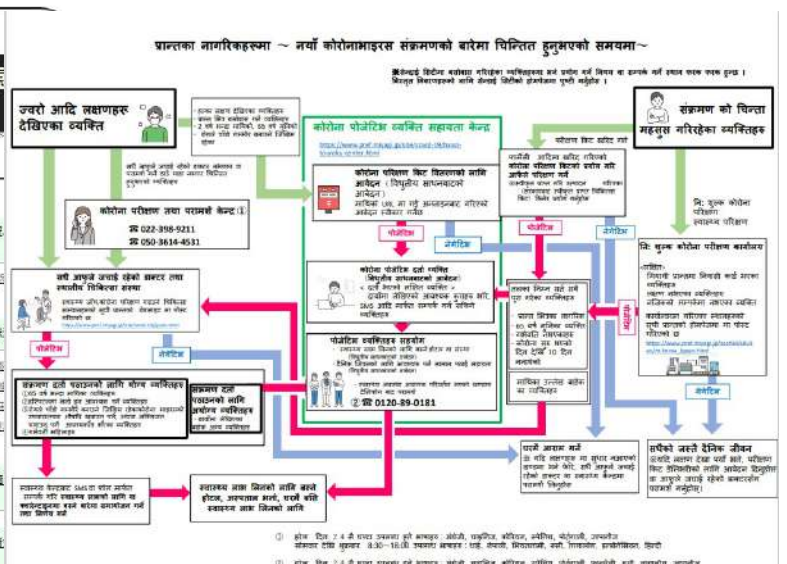
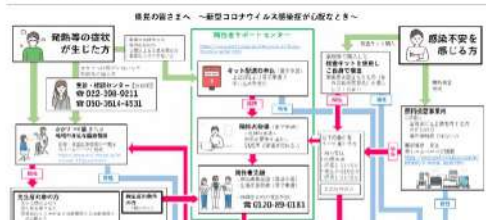
新型コロナウイルス感染症対策サイト

コロナ最新情報

- 4月9日 国境検問所「トクトク」において
- 4月20日 実効再生産数
- 4月20日 臨時使用許可
- 4月20日 海外の検査体制及び検査実施状況
- 4月19日 「感染症法改正」発効に向けた関係機関について

検査情報一覧 > 対応準備RCS

一般の方へ向け情報 (5歳が認められる方・療養中の方・濃厚接触者に当たった方への情報)



フロー図等の多言語化

(3) 「生活の壁」の解消

【事業の取組方針】

「生活の壁」の解消に向け、外国人県民等のサポートを行うとともに、活躍の支援を図る。

① みやぎ外国人相談センター設置事業（事業費：5,252,500円）

MIAに委託し、外国人県民やその家族から寄せられた相談に対して、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスを行い、外国人県民の不安解消、問題解決等に寄与した。

相談センターには、相談員を配置するとともに、三者での通話が可能な「トリオフォン」機能を付加した電話機を設置し、外部多言語コールセンターを利用することで、13言語により相談に対応した。

ア 相談センター相談員の対応言語

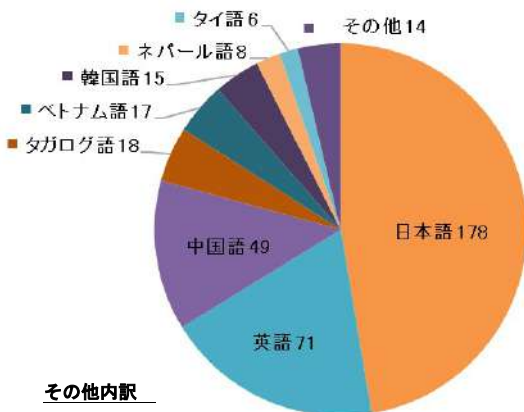
日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語
 ※ 相談員の勤務日以外に上記言語での相談があった場合は、外部多言語コールセンターにより随時対応

イ 外部多言語コールセンターの対応言語

相談センター相談員の対応言語の他、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、タイ語、ヒンディー語

- ウ 相談対応件数 376件
- エ 男女構成比 女性215件（57%）、男性161件（43%）
- オ 相談手段 電話313件（83%）、来所34件（9%）、その他29件（8%）

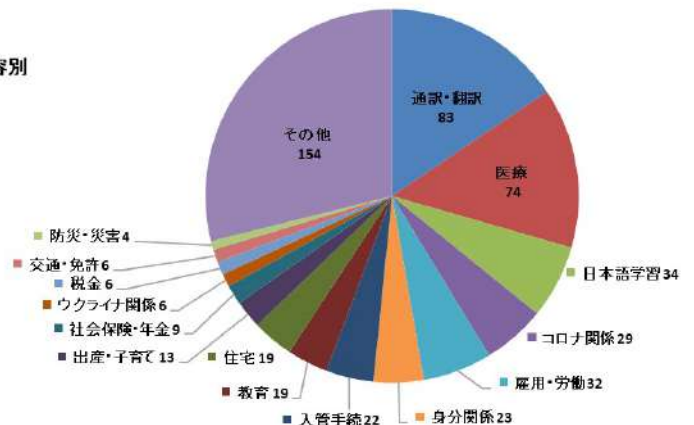
対応別言語別



その他内訳

- ・インドネシア語 4
- ・ポルトガル語 3
- ・ウルドゥー語 2
- ・ヒンディー語 2
- ・ベンガル語 2

相談内容別



② 新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター及びワクチン副反応相談センターの多言語対応【コロナ対応】（事業費：2,420,000円）

県が設置している新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター及びワクチン副反応相談センター（コールセンター）について、外国人県民からの相談があった場合、相談者、コールセンター及び通訳オペレータによる3者間通話により多言語相談ができる体制を整備することで、コロナ禍における外国人県民の不安解消に繋げた。

ア 対応言語	12言語
イ 対応時間	24時間365日（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語） 平日 8:30～18:00（タイ語・ネパール語・ベトナム語・ロシア語・ タガログ語・インドネシア語・ヒンディー語）
ウ 実績	外国人からのコールセンター相談件数 830件 うち多言語コールセンター利用件数 136件



③ 在住外国人との共生の地域づくり推進事業（事業費：104,464円）

石巻市が実施する「じゃぱ needs 塾」の交流事業を支援（講師謝金・旅費及び参加者材料費の費用負担、当日の運営支援）し、在住外国人と地域住民との交流を通じた関係構築を図った。

日 時：令和5年3月5日（日）

場 所：石巻市総合福祉会館みなと荘

参加者数：41名

内 容：食品サンプル作成を通じた外国人住民と地域住民の交流



④ 県民アンケート調査【5年ごと】（事業費：3,545,250円）

多文化共生の社会づくりを進めるために、県内に居住する18歳以上の外国人県民1,900人及び日本人県民1,500人を無作為抽出した対象者にアンケート調査を実施し、調査結果から課題の把握等を行った。

ア 調査対象：(i) 宮城県内に住民登録のある18歳以上の外国人県民から無作為抽出した方
(ii) 宮城県内に住民登録のある18歳以上の日本人県民から無作為抽出した方

イ 調査票言語：(i) 日本語(ふりがな付)、中国語(簡体字)、韓国語、英語、ベトナム語、ネパール語
(ii) 日本語

ウ 調査期間：令和4年11月28日～令和4年12月26日

エ 回収結果：

(i) 外国人県民対象：1,900部配布 有効回答 430 有効回収率 23.4%
(ii) 日本人県民対象：1,500部配布 有効回答 591 有効回収率 39.6%

⑤ 外国人コミュニティリーダーとの意見交換（事業費：20,304円）

外国人県民が地域で暮らす上で効果的な施策を検討していくため、知事が様々な分野で活躍する外国人県民から直接意見を聞く座談会を実施した。

日 時：令和4年9月16日（金）

場 所：宮城県庁舎4階 庁議室

参加者：

(一社)石巻イスラム文化センター 代表理事 ソト アブドゥル ファツ氏
宮城県台湾婦女会 会長 曾根 昭蓉（そね しょうよう）氏
登米市立津山中学校 外国語指導助手 小野寺 ルシー氏

内 容：参加者の自己紹介及び団体活動紹介、知事と参加者との意見交換



⑥ 外国人材マッチング支援事業（事業費：20,808,480円）

県内企業における外国人材の受入の整備を総合的に支援するため、相談窓口を設置するとともに、各種セミナー、合同企業説明会等を実施し、県内企業における外国人材の採用・活用を図った。

ア 「外国人材バンク」及び「企業バンク」の形成

登録数：外国人材バンク 1,050名、企業バンク 316社

イ 企業相談窓口の運営（相談件数 40件）

ウ 外国人材向けセミナーの実施（オンデマンド配信全5回、視聴数計：233回）

エ 企業向けセミナーの実施（オンデマンド配信全3回、視聴数計：111回）

オ 教育機関・企業向け出張セミナーの実施（全27回、参加者189名）

カ 合同企業説明会の実施（対面とオンラインで開催：参加留学生等延べ332名、参加企業延べ45社）

キ 企業訪問ツアーの実施（対面開催：参加留学生等57名、参加企業18社）

ク 企業と留学生の交流会の実施（対面で全2回：参加留学生23名、参加企業17社）



（合同企業説明会の様子）



（企業訪問ツアーの様子）



（交流会の様子）

⑦ 外国人材高度化転換支援事業（事業費：10,071,600円）

県内企業への就労を前提とした特定技能への転換を支援することで、人手不足の解消と人材流出対策に繋げることを目的として、技能実習生及び受入企業に対する調査の実施や特定技能人材の採用等に係るアドバイザーの派遣等を行った。

ア 技能実習生及び受入企業に対する調査

監理団体に協力要請し、受入企業及び実習生双方へ調査票配布

イ アドバイザーの派遣（派遣希望38社）

ウ 外国人材活用セミナーの開催（全5回：参加者延べ16名）

エ 技能実習生 Thanks Party

技能実習生同士の交流と受入企業から感謝を伝える場として、Thanks Party を開催した。

日 時：令和5年2月26日（日） 午後2時から午後4時まで

場 所：ホテルメトロポリタン仙台4階

参加者：企業36社より155名参加



（技能実習生 Thanks Party の様子）

2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

評価指標 1 多文化共生啓発事業を実施している市町村数

■指標説明

市町村が実施する啓発関連イベントのほか、関係部署・関係者との会議の開催を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R4 : 15市町村

【実施市町村（15市町村）】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、丸森町、亘理町、七ヶ浜町、加美町、涌谷町

評価指標 2 多文化共生に関する説明会等に参加した県民の数

■指標説明

町内会、民生委員など地域の推進役に対する各種研修会等での多文化共生に関する説明、情報提供などに参加した県民の数

■目標値 R5 : 2,300人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 1,273人

(R1 : 441人、R2 : 119人、R3 : 212人、R4 : 501人)

【結果】

R4年度参加人数 : 501人

【内訳】

- ・仙台市 : 「市政出前講座 (やさしい日本語講座)」 (参加者 37人)
- ・名取市 :
 - ① 「多文化共生事業 多文化トークタイム～Christmas Season～」 (参加者 29人)
 - ② 「国際交流事業協力者研修会」 (参加者 22人)
- ・大崎市 : 「おおさき多文化共生セミナー」 (参加者 44人)
- ・女川町 : 「外国人研修生に対する出前講座」 (参加者 28人)
- ・宮城県
 - ① 「多文化共生シンポジウム」 (参加者 65人)
 - ② 「やさしい日本語研修」 (参加者 182人)
 - ③ 東北大学「インクルージョン社会」講義 (参加者 43人)
 - ④ 「出前講座」 (参加者 51人)

評価指標 3 多言語による生活情報の提供実施市町村数

■指標説明

生活に関する情報を日本語以外の言語で提供している県内の市町村の数

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R4 : 34市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、富谷市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、加美町、美里町、涌谷町、女川町、南三陸町

※R3から5市町村（登米市、七ヶ宿町、川崎町、大衡村、涌谷町）増加

評価指標 4 日本語講座など日本語学習支援及び関連する取組を実施している市町村数

■指標説明

日本語講座や日本語教室の開設に加え、その他の日本語学習支援や関連する取組を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R4 : 12市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、大崎市、亘理町、加美町、美里町

※R3から2市町村（岩沼市、加美町）増加

評価指標 5 外国人相談対応体制を整備している市町村数

■指標説明

他団体等と連携して外国人相談に対応できる体制を整備している場合も含む。

■目標値 R5 : 15市町村

【考え方】

前計画の目標値の1.5倍

■進捗状況 R4 : 13市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、川崎町、七ヶ浜町、加美町、涌谷町

※R3から1町（涌谷町）増加、1市（栗原市）減少

評価指標 6 (i) 技能実習を除く外国人雇用者数 (厚生労働省調べ) 【各年 10 月末現在】
(ii) 外国人就労支援セミナー等の参加事業所数

■指標説明

- (i) 技能実習を除いた外国人雇用者の数
- (ii) R 元年度から R 5 年度までの合計事業所数

- 目標値 (i) R 5 : 12,000 人
(ii) R 5 : 1,500 事業所

【考え方】

- (i) H 26 から H 29 までの平均増加率による増加見込み
- (ii) 年 10% の増加を見込んだ数

■進捗状況

- (i) R 4 : 10,907 人

【結果】

前年度 (9,496 人) から外国人雇用者数は 1,411 人増加した。
(前年度増加率 14.86%)

- (ii) 697 事業所

(R 1 : 378 事業所, R 2 : 172 事業所, R 3 : 67 事業所, R 4 : 80 事務所)

【結果】

R 4 年度参加事業所数 : 80 事業所

【内訳】

- ・宮城県外国人材マッチング支援事業
(合同企業説明会 : 45 事業所、企業訪問ツアー : 18 事業所、交流会 : 17 事業所)

※企業向けセミナー (常設型オンラインセミナー) は、参加事業者数が不明のため実績から除外 (閲覧総数 111 回)

評価指標7 文化・習慣等の相互理解の促進に係る取組の参加者数

■指標説明

R元年度からR5年度までの合計人数

■目標値 R5: 3, 500人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 4, 315人

(R1: 1, 926人、R2: 691人、R3: 609人、R4: 1, 089人)

【結果】

R4年度は、1, 089人の参加。

【内訳】

- ・ 仙台市: 「せんだい多文化まちづくりチャンネル(参加者数不明)
- ・ 石巻市: 「多文化共生推進事業「じゃぱ needs 塾」(91人)
- ・ 塩竈市: 「塩竈市中学生国際交流研修事業(7人)
- ・ 気仙沼市: 「気仙沼インドネシア交流事業(134人)
- ・ 白石市: ①「国際理解を深める講演会(20人)
②「料理を通して世界を知る会(20人)
- ・ 名取市: 「多文化共生事業 多文化トークタイム～Christmas Season～」(29人)
- ・ 多賀城市: 「あやめまつりステージ」、「国際交流協会会員研修」、「国際交流まつり」、
「国際理解講座」(143人)
- ・ 岩沼市: 「ございん IWANUMA ワールドフェス」(200人)
- ・ 蔵王町: 「日本文化を通じた交流会」(22人)
- ・ 亘理町: 「在住外国人とのいちご狩りと筆文字作品づくり」、
「世界の料理教室」(20人)
- ・ 松島町: 「世界のワインの夕べ」(40人)
- ・ 加美町: 「KIFA カフェ」(103人)
- ・ 涌谷町: 「海外料理教室」(6人)
- ・ 美里町: ①「茶の間」(130人)
②「美里町みやぎのふるさとふれあい事業」(32人)
- ・ 南三陸町: 「産業フェア出店」(5人)
- ・ M I A: 「みやぎのふるさとふれあい事業」(87人)

【参考: 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】

- ・ 登米市: ①「登米市国際まつり」
②「クリスマスパーティ」
③「ハロウィーンパーティ」
- ・ 大崎市: 「おおさき多文化共生シンポジウム&第12回国際交流フェスティバル」
- ・ 大河原町: 「大河原日中友好協会 観桜会」
- ・ 利府町: 「利府町国際交流協会事業」
- ・ 美里町: 「国際交流フェスタ」

令和4年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策
(多文化共生社会の形成の推進に関する条例第21条に基づく報告)

令和5年6月

【編集】宮城県経済商工観光部国際政策課

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

E-mail kokusai@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kokusaisei/>